2015年6月28日 朝日新聞

## はじめての高野山



## すべてを受け入れる山上の

西6#1、南北3#の平地。空海は

標高800 がほどに広がる、東

受け入れる寛容さを重んじてき い。草も木も人の命も、すべてを ないことで得るもののほうが大き 公室長は「戦って失うより、戦わ

拝者は60万人に上った。 4~5月の50日間の記念法会の参 堂や根本大塔が立つ一画「壇上伽 が嵯峨天皇に願い出て賜った。金

が172年ぶりに再建された。

一に今年、江戸後期に焼けた中

真言密教の修行の地を求めた空海

比叡山のような焼き打ちは免れ

は、武装解除を決めて和解した。

豊臣秀吉による紀州攻めで

高野山真言宗の山口文章・総長

神木を先頭に掲げて山を下り、 寺領で争いがあっても、地主神の が、政治的中立を宣言。ふもとの から味方になるように誘われた てきた歴史がある。 南北朝の動乱では、南朝や北朝 舞われたが、

墓は敵味方に関

山で今も瞑想していると信じられ 院」では毎日午前6時と同1時 ている。空海の御廟がある「奥の 空海は835年に入定し、 食事を届ける「生身供」が続 度となく存続の危機に見 戦乱に巻き込まれ、 戦いを避け と上杉謙信……。 織田信長と明智光秀、武田信玄

おいら帰国する際に投げた法具「三から帰国する際に投げた法具「三 なこの地こそ修行の場にふさわし る文献がある。都から離れた清浄 が、この地に足を踏み入れたとす との各伝説が残る。ただ、山岳修 行に励んでいた頃の若かりし空海 **鈷杵**」がここの松に引っかかった なぜこの地を選んだのか。猟師に 年後に人々を救うという弥勒菩薩。 釈迦入滅から56億7千万 野山を極楽とする浄土信仰が影響 ばで眠ることを願う大師信仰、 かえる山中他界信仰や、空海のそ 史)によると、清浄な地に霊魂が 夫・高野山大名誉教授(日本中世 。高野山霊宝館副館長の山陰加る。なぜこんなに多いのか。 が、高野山で説法を開くと考えら した。中世に広まった弥勒信仰も 然や親鸞、第2次世界大戦の戦死 者や東日本大震災の物故者もまつ 戦国武将のほか、他宗の法 言われる墓石や供養塔が 院には、20万基を超すと 杉木立に囲まれた奥の

いと考えたのだろう。

じられている山上の聖地が、人々の心をひき付けてきたわけは? 師空海が今もこの地にいて、救いの手を差し伸べている。そう信 開創1200年を迎えた和歌山県の世界遺産・高野山。弘法大

ぼる。中国・唐で学び、 前期の816年にさかの 高野山の始まりは平安 の家臣が逃げ込んだことをきつ も。本能寺の変で信長が横死し、 けに信長の軍勢に包囲されたこと

れたという。

なく、きな臭い現代にあってます た。高野山の思想は色あせること 「怨親平等」の教えも重んじられ入れるという、空海が大切にした わらない。すべての尊い命を受け

ます必要とされている。

いを鎮めた。

織田信長に刃向かった荒木村重